

出藍(シュツラン)「青は藍より出でて藍よりも青し」という荀子ジュンシのことばから生まれたことば。弟子デシが先生よりもすぐれていることのとえに用いられる。

撞木(シュモク)鐘を打ち鳴らすための棒。

呪文(ジュモン)まじない。またはのろいの文句。

須臾(シュユ)わずかの間。しばらくの間。

腫瘍(シュヨウ)はれもの。

修羅の巷(シュラのちまた)戦場のことを言う。修羅はインドの鬼神阿修羅の略。潤滑(ジュンカツ)湿っていて、なめらかなこと。摩擦を防ぐための機械油を潤滑

油という。

遵守(ジュンシュ)教えやきまりによく従い守ること。遵は順の意。

頌歌(ショウカ)神の栄光、君主の徳、英雄の功績などをほめたたえる歌。頌は顔容が本義で、ほめたたえる意。

正覚(ショウガク)最上の知恵。最高の悟り。

正絹(ショウケン)本絹。ほかの繊維の混じらない絹だけの布。

上梓(ジョウシ)図書を出版すること。昔は梓あずさを版木として、これで印刷した。

成就(ジョウジュ)成しとげること。

情緒(ジョウショ)喜悠哀楽などの心の動きを誘い起こすような気分・雰囲気フンイキ。“ジョウチョ”は慣用読み。

蕭蕭(シュウシュウ)物寂しく風が吹く様。また雨が降る様。肅々シュクシュクとまちがえやすい。

定席(ジョウセキ)決まった座席・場所・常設の寄席よせ。

饒舌(ジウゼツ)饒は食物があり余ること。よくしゃべること。おしゃべり。

装束(ショウゾク)身じたくをすること。また、着物。

上人(ショウニン)高僧。また僧侶の位。

相伴(ショウバン)伴はつれ。つれて歩くこと。客の相手となっていていっしょに接待を受けること。

成仏(ジョウブツ)悟りを開くこと。死んで仏になること。死ぬこと。